

小・中学校施設の耐力度調査

子どもたちの安全な学習環境を確保するため、校舎の耐力度の調査を実施します。

令和8年度から2カ年を目途に、全小・中学校校舎の躯体について、水平耐力やコンクリート圧縮強度などの構造耐力、鉄筋腐食度などの健全度、敷地条件などの立地条件を調査していきます。



成年後見サポートセンター設置

高齢化の進展や核家族化が進む中、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人を地域で支えていく仕組みづくりの重要性がますます高まっていることから、気軽に相談ができる「成年後見サポートセンター」を富里市社会福祉協議会内に設置・運営委託し、安心して本人の意思と権利が尊重される地域づくりを推進します。



公園に健康遊具を設置

令和4年10月に行った「とみさと元気なまち宣言」のもと、宣言の一つである「運動を楽しく続けて健康づくり」に取り組んでいただけるよう、令和8年度は、WNSとみさとスマイルパーク（富里中央公園）及び日吉台中央公園に、背伸ばし運動やスクワット運動ができる健康遊具を設置します。



旧岩崎家末廣別邸の保存活用

主屋とともに国登録有形文化財に登録され、公園の歴史的景観を構成する重要な文化資産「東屋」は、近年、老朽化が進んでいることから、文化財としての価値を将来にわたり適切に保存していくため、令和8年度は、補修工事を実施し末廣農場往時の景観の継承とともに、文化財のさらなる活用を図り、魅力発信を強化します。



中学生議会における提案

令和7年10月15日に令和7年度富里市中学生議会を開催し、市内中学校3校から合計12人の中学生議員が市政に対する一般質問を行いました。

中学生議員の提案を受けて、令和8年度に2つの事業を実施します。

当日の様子は、YouTube「富里市議会チャンネル」で公開しています。



「日本語指導体制の充実」

外国籍の児童・生徒が増加する中、小・中学校すべての児童・生徒に学習機会を均等に与え、安心して学び、将来に向けて自立できる教育環境を整備するため、日本語指導体制の充実を図ります。

「こども110番の家」

すべての子どもに、わかりやすい「こども110番の家」となるよう、看板をリニューアルし、市内約1,400カ所の「こども110番の家」協力店舗等に設置します。地域全体の防犯意識のさらなる向上を図り、子どもに対する犯罪の未然防止や通学路の安全確保につなげます。